

7月10日～8月9日は

# 部落解放月間です

— 全国水平社創立80周年を迎えて —

同和問題  
シリーズ

300

## 第29回部落解放鳥取市研究集会

主 題 「部落問題の解決を自らの課題とし、  
全市民で人権の輪を広げよう」

— 全国水平社創立80周年を迎え、水平社宣言の精神に立ち返ろう —



と き 8月2日(金) 午前9時30分～午後4時30分

全体会 鳥取県民文化会館梨花ホール  
講演「人の世に熱と光を」清原隆宣氏/西光寺(奈良県御所市)  
分科会 鳥取県民文化会館 鳥取市民会館 さざんか会館  
鳥取市解放センター 遷喬小学校 鳥取県庁講堂

今年、全国水平社創立八十周年の年にあたります。水平社宣言にある「……人間を尊敬することによって、自ら解放せんとする……」の精神は、同和問題をはじめあらゆる差別解消の基本的な考え方として今

も大切にされています。毎年七月十日から八月九日は、「部落解放月間」です。期間中は、さまざまな啓発の取り組みが行われます。自分自身を振り返るよい機会です。ぜひご参加ください。

## 水平社宣言とは

1922年(大正11年) 部落差別を自らの手でなくしていくことをめざして「全国水平社」が結成されました。その時に出された宣言が水平社宣言です。

この宣言は日本で最初の人権宣言といわれ、「人間らしく生きる」とはどんなことなのかを私たちに問いかけています。

そして、差別によって人と人との関係が断ち切られてしまう世の中を、ありのままの自分が受け入れられる世の中に、そして一人ひとりが光輝ける世



水平社博物館

の中に、自分たちの手で変えていこうと呼びかけました。

全国水平社創立のメンバーである阪本清一郎さんは「人は同情やあわれみによって理解されてはならない。生まれながらにして尊敬されるべきものだ」と述べています。